

新入荷商品のご紹介



野蚕の色の中でも特に光沢と風合いに優れた天然のタッサールシルク。上質な生地に小紋を配した贅沢な逸品。

貴久樹ナチュラルタッサール小紋

324000円



カジュアルでポップな色柄が魅力で、若い初心者の方から、上級者までとても人気のある伊勢木綿。正絹の着物ばかり着られているという方も、一度は挑戦していただきたい着物の一つです。

伊勢木綿

21600円



花しおり帯留め & 四分紐

帯留 4860円
四分紐 6480円

パールの帯留めと四分紐の組み合わせは、上品さと華やかさを求められる礼装にもピッタリ。四分紐は幅があるのでしっかりと袋帯でもホールドしてくれ、安心です。



野口硝子 ガラスのお雛様

12960円

ガラス作家ノグチミエコさんのもと若きクリエイターたちが作り出すガラスのお雛様。季節のインテリアとして部屋を彩ってくれるガラスのお雛様は、窓際に飾れば光が透けて見え、とてもきれいです。

趣味の着物、草履・下駄、着物のお手入れ、着付けなどお気軽にご相談ください。

きもの新聞 2017年2月号

ごあいさつ



なぜか毎年2月になると、年末から年明けの疲れがどっと出だすのか、腰やら肩が凝ったりします。この時期は一年で一番寒い時期で、どうしても家にこもりがちになってしまいます。運動不足を招いてしまいますので、少しでも体を動かして体調管理に気を付けましょう。

特集 貴久樹（きくじゅ）について①



現代社会において、どちらかという非日常を演出するアイテムとしての位置づけが大きい着物。それゆえ伝統的な着物も良いのですが、生活の延長線上にある洋服感覚に近いモダンな着物はファッションが生活と切り離せない世代にとっては共感を呼ぶもの。上質な和と洋のファッション性が混ざり合った感覚こそが現代人に求められる最先端の着物のスタイルかもしれません。

貴久樹（きくじゅ）はファッションの街『神戸』の呉服店『イトカワ』を母体にして、オリジナルのものづくりを京都の工房にて作り出すメーカー。今や定番となった汕頭（すわとう）の刺しゅうの着物や久保田一竹の着物を最初に手掛けたのもこの貴久樹の母体となった『イトカワ』さんだそうです。



貴久樹（きくじゅ）の着物は、インドのアッサム地方にしか生息しない野蚕の繭を使ったゴールデンムガヤタッサールシルクなど、光沢のあり力強い生地を中心に、アジアの更紗や中国の刺しゅうなどの技術を、日本人の好みに合ったモダンさに仕上げた上質の着物。かわちやきもの新聞の3月号でも引き続きご紹介していきますので、是非ともお楽しみにお待ちください。

たんぽぽ会では貴久樹（きくじゅ）の着物や帯をご紹介します。

twitter、facebook、
アメブロやっています。

着物・和雑貨のかわちや
フェイスブックページ

<http://www.facebook.com/kawachiya888>

もっと着物を楽しもう！
かちゅうあんブログ

<http://ameblo.jp/kawachiya/>

日々、ブログを更新しています。
着物のこと、日常のこと、音楽のことなどつづっています。
チェックしてみてください。

呉服の河内屋

〒444-0521

愛知県西尾市吉良町上横須賀八王子62

<http://www.gofuku-kawachiya.co.jp>

メール info@gofuku-kawachiya.co.jp

tel 0563-35-0039 fax 0563-35-3539